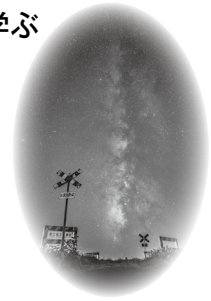


特集 VUCA時代の経営者たち—成功者の考え方と行動から学ぶ

第1章

多様化, 複雑化する課題に どう取り組んでいくべきか



「VUCA時代の経営者たち」執筆チーム

1. 今, このときを考える

今年のゴールデンウィークは、交通渋滞、乗車率100%超えの新幹線など、コロナ禍以来、久しぶりの光景にあふれていた。

2020年1月に日本で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されてから3年以上が経過した。ようやく日常が戻ってきたことを実感し、ほっとしている読者も多いのではないだろうか。しかし、息つく間もなく、コロナだけではなく、次々と課題が押し寄せてくる。

これまでの日常に戻ることはなく、新しい日常をどう歩むか。先送りにしてきた労働人口減少に伴う人手不足や、過疎化が進む地域の活性化などに改めてどう向き合うか。また、急速に進展したAIなどのテクノロジーや多様化する価値観などの新たな課題にどう立ち向かうかが問われている。

さまざまな課題がこれまでにないスピードで、多様かつ複雑に絡み合い、先を見通すことも困難な状況——このVUCA時代に直面している今、我々中小企業診断士はどのようなことを意識し、行動すべきなのだろうか。

2. 5名の経営者から学ぶ

先の問いに対する答えを求めて、今回、経歴も活動内容もまったく異なる5名の経営者を次の3つの軸を念頭に選定し、取材を行った。

- ①過去に自身が属するコミュニティや専門分野の中で感じた思いを胸に、果敢に自分の目標にチャレンジしていること
- ②チャレンジした結果、思いを実現し、活躍していること
- ③VUCA時代の中で、成功した経験を生かして、未来を見据えたアクションを起こしていること

3. 取材から導かれた3つの共通解

取材の結果、各々の意識や行動から、VUCA時代における3つの共通解を見出すことができた。

- ①既存の枠組みをボーダーレスにとらえる思考力が求められること
- ②潮流の変化にも積極的に飛び込んでいく行動力が求められること
- ③時代に流されない自身の軸を持ち、未来へ向かう推進力が求められること

異なる分野で活躍する経営者の意識や行動に関する共通解は、多様な分野で活動を行う我々中小企業診断士が意識すべき点として参考になると思われる。また、共通解を意識することで、中小企業の支援の在り方を新たに見いだせる可能性があるのではないだろうか。

本特集が、VUCA時代とともに歩む中小企業と中小企業診断士の未来を考える糸口となることを願っている。